

令和 3年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山岸和幸
全体計画	平成28年度 ~ 令和 2年度			経費区分	経常的経費			内線	3326		
事務事業名	4087 高齢者自立支援事業										
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課										
施 策	11020400 高齢者福祉の充実										
会計	01 一般会計										
科目	030103 民生費・社会福祉費・高齢者対策費										
事業	020000 高齢者自立支援事業										
事業目的						事業概要・効果					
高齢者が在宅で安心して生活できる支援と生きがい活動の支援。						高齢者を地域で見守り、安心して生活するための事業。また、家に閉じこもりがちな高齢者及び虚弱な高齢者に対し、仲間づくり等を通じて要介護状態への進行の防止を図る。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
生活指導、健康相談等を通して、ひとり暮らし高齢者等の健康づくりを増進した。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、生涯学習推進課と連携してエンディングノート活用講座を開催した。	生活指導、健康相談等を通して、ひとり暮らし高齢者等の健康づくりを増進する。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、生涯学習推進課と連携してエンディングノート活用講座を開催する。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	すざかマイ・ノート活用講座累積参加者数				
算式					単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	30	30	30	30
	実績				
指標選定の理由	自立を考える高齢者の数として				
最終年度目標の根拠	現状の開催回数にあわせて目標値を設定した。				
指標名	見守り支援事業協力隊参加事業者数				
算式					単位 事業所
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	16	17	18	20
	実績				
指標選定の理由	高齢者を見守る施策のひとつとして数値化できるものである				
最終年度目標の根拠	「須坂市高齢者いきいきプラン」(令和3年度～令和5年度)で高齢者福祉施策の指標として目標値を設定したが、現状にあわせて目標値を設定した。				
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		6,303	7,476
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	108	1,427
一般財源		6,195	6,049
人員数(人)	正規職員	0.4	0.0
	嘱託職員	0.1	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,787.2	0.0
	嘱託職員	314.9	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,102.1	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		9,405.1	7,476.0

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	2,840	生活管理指導短期宿泊事業委託料114、後期高齢者健康増進事業委託料726、自立生活特別支援事業委託料2,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,463	会計年度任用職員報酬、借上料等

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	512	
12節 委託費	3,070	生活管理指導短期宿泊事業委託料198 後期高齢者健康増進事業委託料872 自立生活特別支援事業委託2,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,894	会計年度任用職員報酬、借上料等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者等の健康づくり及び要介護状態への進行防止につなげている。 社会福祉協議会に委託している自立生活特別支援事業により、介護給付で対応できない生活援助、身体介護を行っている。 人生の最終ステージを自分らしく迎え、安心して生きがいを持って暮らす事業を行っている。 高齢者の見守りに民間事業者による「見守り支援事業協力隊」の協力を行っている。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者等の心身の健康づくりと介護予防につながる。 エンディングノートを活用することにより、自分に万が一のことが起きた時に、家族や親族に自分の希望を伝えることができる。 安否確認、孤独死の防止に「見守り支援事業協力隊」の協力を得て実施している。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 自立生活特別支援事業の委託方法について、引き続き検討する。 すぎかマイ・ノート活用講座について、外部講師を呼んでいたが、講師は職員で対応した。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

- ・すぎかマイ・ノートの改訂版の印刷製本費として512千円を予算計上したが、ノートに広告を掲載して無料でノートを作成できないか検討する。
- ・一律の金額で委託している自立生活特別支援事業について検討する。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

ひとり暮らし等の高齢者の介護予防や安心した生活を送るための大切な事業であり、効果のある事業である。身寄りのない高齢者の増加もあり、成年後見制度の利用と共に、エンディングノート利用促進を図る。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

高齢期を安心して生活できるように元気な時から自分の最期を考えること、地域で見守ることは重要な取り組みであるため継続する。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--